

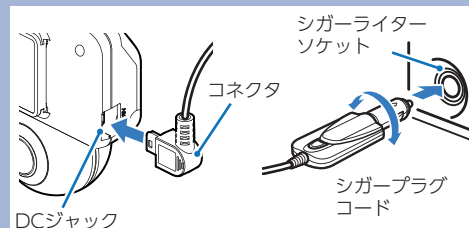
各部名称



接続方法

付属品のシガープラグコードを、本体の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。故障や破損の原因になります。



■ 本機の特徴

便利!

前後 2 カメラ搭載! [720°] 全方位 (オムニディレクション) の映像を記録!

安心!

駐車記録機能! 駐車中の当て逃げやイタズラにも対応! [別売品が必要]

きれい!

白とび / 黒つぶれを抑える HDR 搭載!

Q-01cの使い方

エンジンの始動

本機に電源が供給されると、録画ランプ(紫)が点灯し、その後青点灯になり録画(常時録画)を開始します。

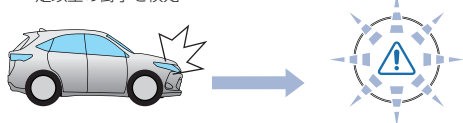
※本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。



衝撃を検知する (Gセンサー記録)

G センサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「G センサー記録」として前後の映像を SD カードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



衝撃を検知すると、ピープ音が鳴り、録画ランプ(青)が点滅します。

※事故発生時の衝撃が弱い場合、G センサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

手動で記録する (ワンタッチ記録)

ワンタッチ記録は、任意のタイミングで映像を記録することができます。常時録画中に本体の録画ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」として SD カードに記録します。



衝撃を検知すると、ピープ音が鳴り、録画ランプ(青)が点滅します。

※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。

エンジンを切る

録画が停止し、電源 OFF になります。

※本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

マルチトリガーについて

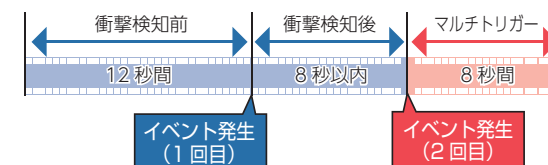
本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2 回目以降の衝撃も 1 つのファイルとして連続で記録します。

※マルチトリガー検知後は、設定されている時間 (衝撃検知後の時間) 記録します。

※イベント記録の 1 ファイルの最大秒数は、60 秒になります。

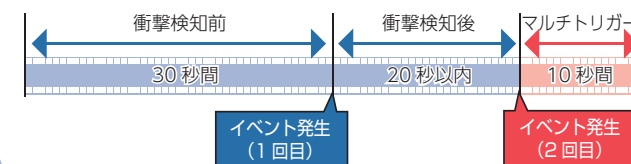
※イベント記録時間の設定が 60 秒 (30,30) の場合は、マルチトリガーは行いません。

■ 例：イベント記録時間の設定が 12 秒 / 8 秒の場合
2 回目のイベント発生後、さらに 8 秒間イベント記録を続けます。



■ 例：イベント記録時間の設定が 30 秒 / 20 秒の場合

1 ファイルのイベント記録の最大秒数が 60 秒のため 2 回目のイベント後、さらに 10 秒間イベント記録を続けます。



本機で録画した映像は、パソコンに専用ソフトをインストールすることにより、映像ファイルを再生することができます。

※地図の表示にはインターネット接続環境が必要です。

本機で使用する専用ソフトは、付属のSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてください。

(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html)

OS : Microsoft Windows 10, 8, 7
CPU: Core i5 相当、3.0GHz 以上
メモリ : 8GB 以上
DirectX9.0c 以降のバージョン (2018年10月現在)

再生ボタン

映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



■ 再生スピードの変更

◀◀ や ▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

◀▶ を1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で[再生]または[逆再生]できます。

◀◀ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

専用ソフトの画面について



表示エリア

- ・選択したデータの映像を表示します。
- ・表示エリアでは[移動][反転][拡大・縮小]を行うことができます。

メニューバー

- フォルダを指定します。
- 静止画に変換します。
- 印刷をします。
- 動画変換します。
- データのバックアップをします。
- ログデータに変換します。
- レポートを表示します。
- 記録設定の変更をします。

- プレイリスト一覧
 - ・選択されているデータを表示します。

- 加速度センサーグラフ
 - ・加速度センサーグラフを表示します。

地図表示

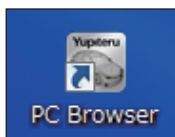
- ・読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。

録画データを読み込む

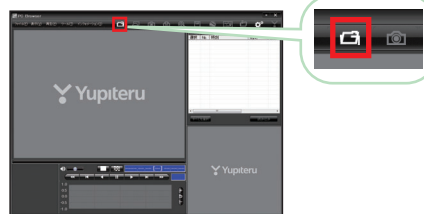
- ① 本機から取り出したSDカードを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

- ② デスクトップにある[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

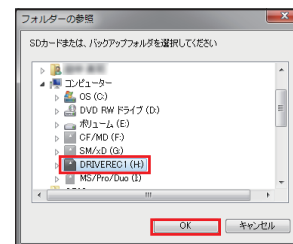
※専用ソフトが起動します。



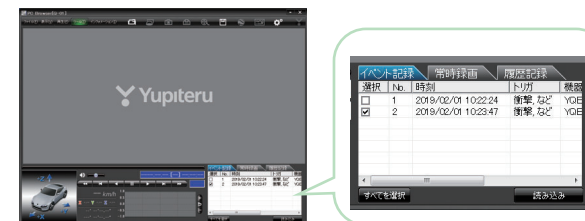
- ③ (フォルダ) をクリックする



- ④ [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



- ⑤ プレイリスト一覧に録画データが表示される



■ イベント記録を再生する

① 録画データを専用ソフトで読み込む

SD カードを本体から取り出し、専用ソフトで読み込みます。

② イベント記録をクリックする



③ 見たい録画データ名に☑を入れる



複数のデータを選択できます。
[すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

④ 「読み込み」をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。



■ 常時録画を再生する

① 録画データを専用ソフトで読み込む

SD カードを本体から取り出し、専用ソフトで読み込みます。

② 常時録画をクリックする



③ 見たい録画データ名に☑を入れる



複数のデータを選択できます。
[すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

④ 「読み込み」をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。



■ 履歴記録を再生する

① 録画データを専用ソフトで読み込む

SD カードを本体から取り出し、専用ソフトで読み込みます。

② 履歴記録をクリックする



③ 見たい録画データ名に☑を入れる



複数のデータを選択できます。
[すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

④ 「読み込み」をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

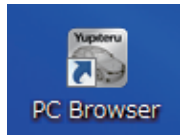


「数か月に一度」、専用ソフトで SD カードをフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画データ」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

- ① SDカードを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

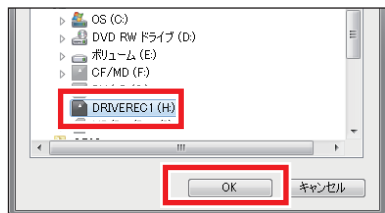
- ② デスクトップ[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



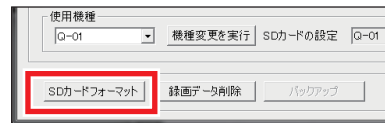
- ③ メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



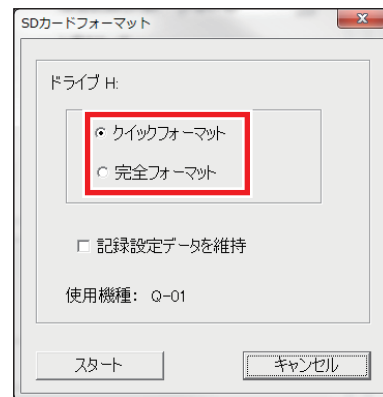
- ④ [DRIVEREC1]を選択し、[OK] をクリックする



- ⑤ [SDカードフォーマット]をクリックする

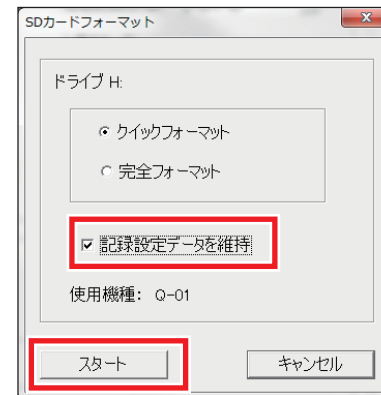


- ⑥ [クイックフォーマット]と[完全フォーマット]のいずれかを選択する



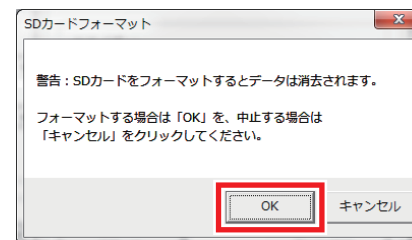
- ・クイックフォーマット
短時間でフォーマットを行います。
- ・完全フォーマット
完全フォーマットを行います。
※クイックフォーマットより時間がかかります。

- ⑦ [記録設定データを維持]に☒を入れ、[スタート]をクリックする

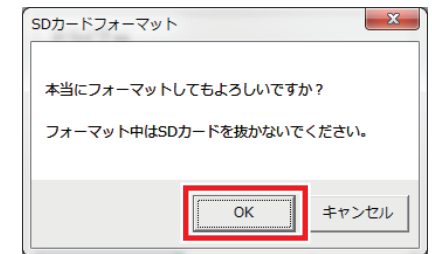


- ・☒ 記録設定データを維持
SD カードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
☒を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

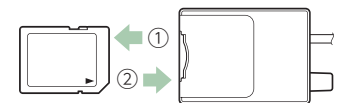
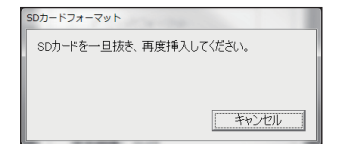
- ⑧ [OK]をクリックする



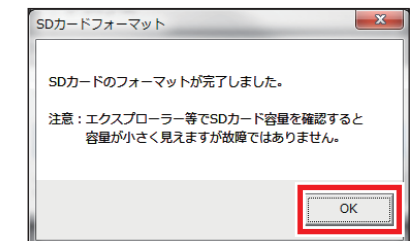
- ⑨ [OK]をクリックする



※完全フォーマットの場合、下記の画面が表示されます。画面の説明に従って SD カードの抜き差しを行ってください。



- ⑩ [OK]をクリックする



以上でフォーマットは完了です。

SDカードのフォーマット方法 ②

「SD カードのフォーマット方法①」でフォーマットできない場合 / 別売品の SD カードを使用する場合 / 「有効な SD カードではありません」と表示された場合に下記の手順で行なってください。

※フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画データ」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

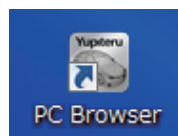
① 最新の専用ソフトに更新する

下記の URL から最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

② SDカードを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

③ デスクトップ[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



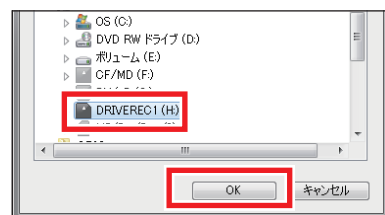
④ メニューバーの[ツール] → [機種選択] → [Q-01]を選択する



⑤ メニューバーの[ツール] → [SDカードフォーマット]を選択する

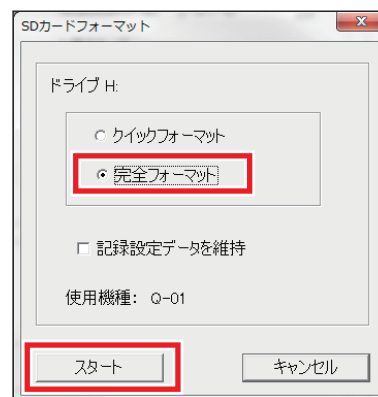


⑥ [DRIVEREC1]を選択し、[OK] をクリックする

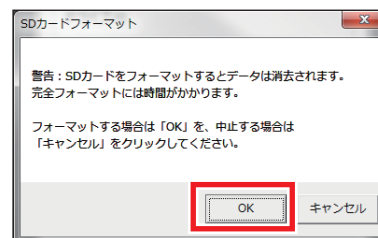


PC Browser の右側に [Q-01] と表示されます。
※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

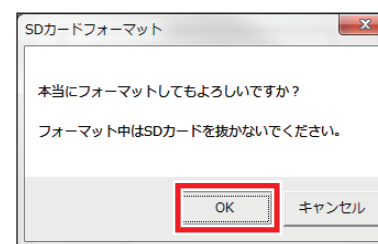
⑦ [完全フォーマット] を選択し、[スタート]をクリックする



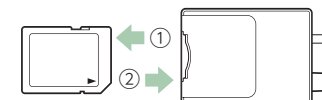
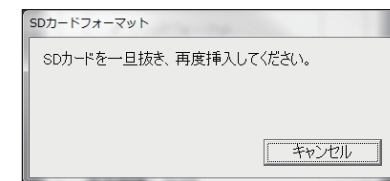
⑧ [OK]をクリックする



⑨ [OK]をクリックする

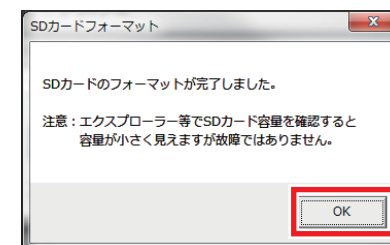


⑩ SDカードを抜き差しする



フォーマットが開始されます。

⑪ [OK]をクリックする



以上でフォーマットは完了です。
各種設定を行ってから SD カードをパソコンから取り出し、本機に装着してご使用ください。

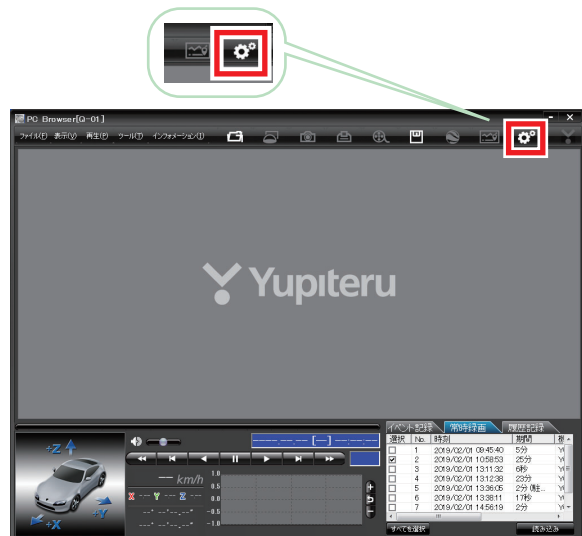
本機は専用ソフトで、G センサー感度の変更やイベント記録時間の変更などすることができます。

■ 記録設定画面の表示方法

①SDカードを専用ソフトで読み込む

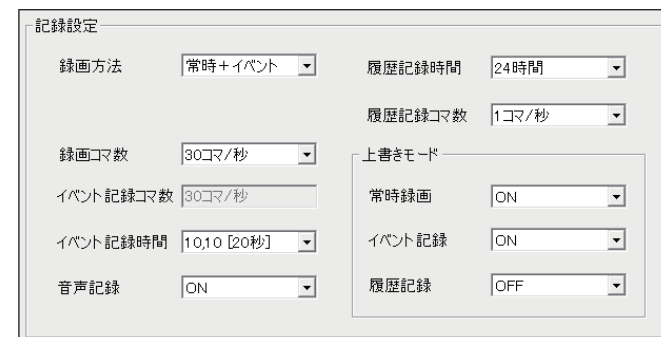
SD カードを本体から取り出し、専用ソフトで読み込みます。

② ⚙️(記録設定)をクリックする



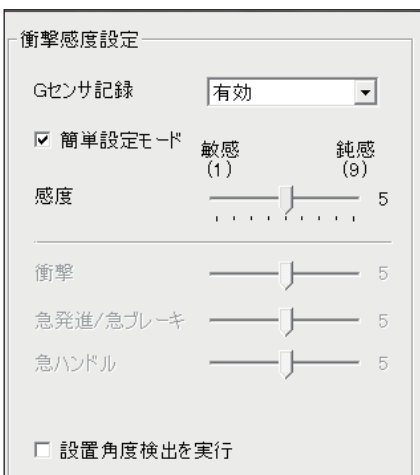
■ 記録設定の初期値

項 目		初期値	説 明
録画方法		常時＋イベント	常時録画をしながら衝撃やワンタッチボタンを押した際に、イベント記録の別データとして記録します。
録画コマ数		10 コマ / 秒	映像を 1 秒間あたり 10 コマで記録します。
イベント記録時間		10,10 [20 秒]	イベント記録としてトリガーの前後 10 秒間 (合わせて 20 秒) を記録します。最大値は前後 30 秒の設定値があります。
音声記録		ON	SD カードに記録する映像とともに音声記録も同時に記録します。OFF にすると映像のみで音声は記録されません。
履歴記録時間		24 時間	履歴記録を最大 24 時間分記録します。履歴記録とは、走行軌跡をポイントで記録したものです。
履歴記録コマ数		1 コマ / 秒	履歴記録のコマ数を 1 秒間に 1 回記録します。
モード 上書き	常時録画	ON	割り当てられた記録領域がいっぱいになった時に、古い常時録画を削除し、新しい映像を記録していきます。
	イベント記録	ON	割り当てられた記録領域がいっぱいになった時に、古いイベント記録を削除し、新しい映像を記録していきます。
	履歴記録	ON	割り当てられた記録領域がいっぱいになった時に、古い履歴記録を削除し、新しい履歴記録を記録していきます。

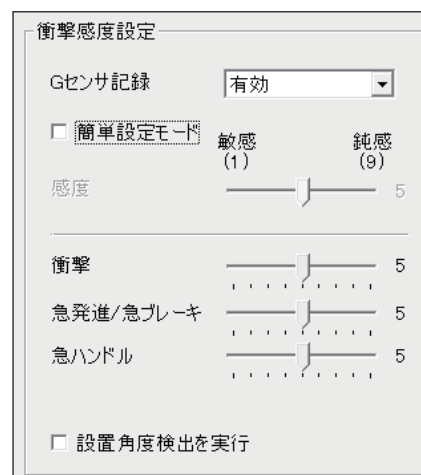


■ 衝撃感度設定の初期値

項 目	初期値	説 明
G センサ記録	有効	イベント記録の G センサー記録が有効になっています。無効にすると G センサー記録は行われません。
簡単設定モード	ON	衝撃・急発進 / 急ブレーキ・急ハンドルの感度を一括で変更するモードになります。チェックを外すと 3 項目をそれぞれ任意の感度に変更することができます。
感度 (1 ~ 9)	5	敏感の (1) から鈍感の (9) まで設定できます。敏感にするとより小さい G センサーの変化でもイベント記録として記録します。



< 簡単設定モードの場合 >



< 個別設定の場合 >

< 感度の目安 >

感度レベル	動作・使用条件
1(敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
↑ ↓	
9(鈍感)	標準設定(基本的に事故のみを記録) 通常運転時に反応してしまう場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。